

1月の活動① 実技訓練から大山への日帰り山行まで

～明けましておめでとうございます～

1月7日（水）2026年スタート

この日は校内で実技訓練と月末に参加する新人登山大会参加準備のミーティングを行いました。

実技訓練① 軽アイゼンの装着練習



○で囲んだものが軽アイゼンです。6本歯以上のものは登山靴にサイズ合わせをしなければなりません。その他4本歯や10本歯のものもありますが、それぞれ登山前に一度装着練習をする必要があります。



軽アイゼンの歯が地面や岩場でグリップが利きすぎるがゆえに転倒をしやすくなります。チャンスがあれば週末の大山で軽アイゼンを装備して短距離の歩行訓練を行う予定です。

実技訓練② ツェルト設営



ツェルトは山中で遭難した時に幕営をするための簡易テントです。これまでにはツェルトのかぶり方を教えましたが、今回はツェルトを建てて野営をする想定で訓練を行いました。



ツェルト本体を袋から取り出し、風上から本体にペグを打ちます。この時ペグは地面にめり込むくらいまで打ち込みます。



ツェルト本体の四隅を固定したら、ポールをツェルトの出入口に装着してから張り綱でテンションをかけていきます。



出入口の片側がきちんと立ったら反対側も同じようにテンションをかけてツェルトを建てます。



最後にツェルトの中に入り、トグルと呼ばれるツェルトの床を閉じれば設営完了です。この日は最初のペアが顧問の指示どおりに動いてツェルトを建てましたが、2組目以降は最初のペアの指示どおりに動いてツェルト設営を行うリレー形式で全員が設営を行いました。指示を出す役目になった部員は指示出しがうまくいかないことがありましたが、設営を終わった部員が指示で不足があれば補う声かけをしていました。こうしたことから指示を出す難しさを肌で感じたことだと思います。

ツェルトはあくまで緊急用なので、幕営用のテントには強度や保温性ではかないませんが、部員を中に入れると「意外とあったかいですね」とのこと。

ツェルトを張ることができれば緊急時以外でも、屋根がない場所での雨天時の調理でも屋根代わりに使うことができます（その時は別途張り綱とペグを用意しなければなりません）。

ミーティングでは新人登山大会の食糧計画について話し合いを行いました。話し合いの中では「○○を△△すればいいけるくない？」や「□□のやり方を挑戦してみませんか？」という発言が多くみられ、「できないことをどうやったらできるようになるか？」を考えたり新しいことに挑戦しようという姿勢は少しずつ身についているように思われました。ちなみに献立は大会参加報告まで秘密です。今回は1品だけ攻めたメニューを考案しました。乞うご期待！

1月10日（土）大山（お汁粉登山）

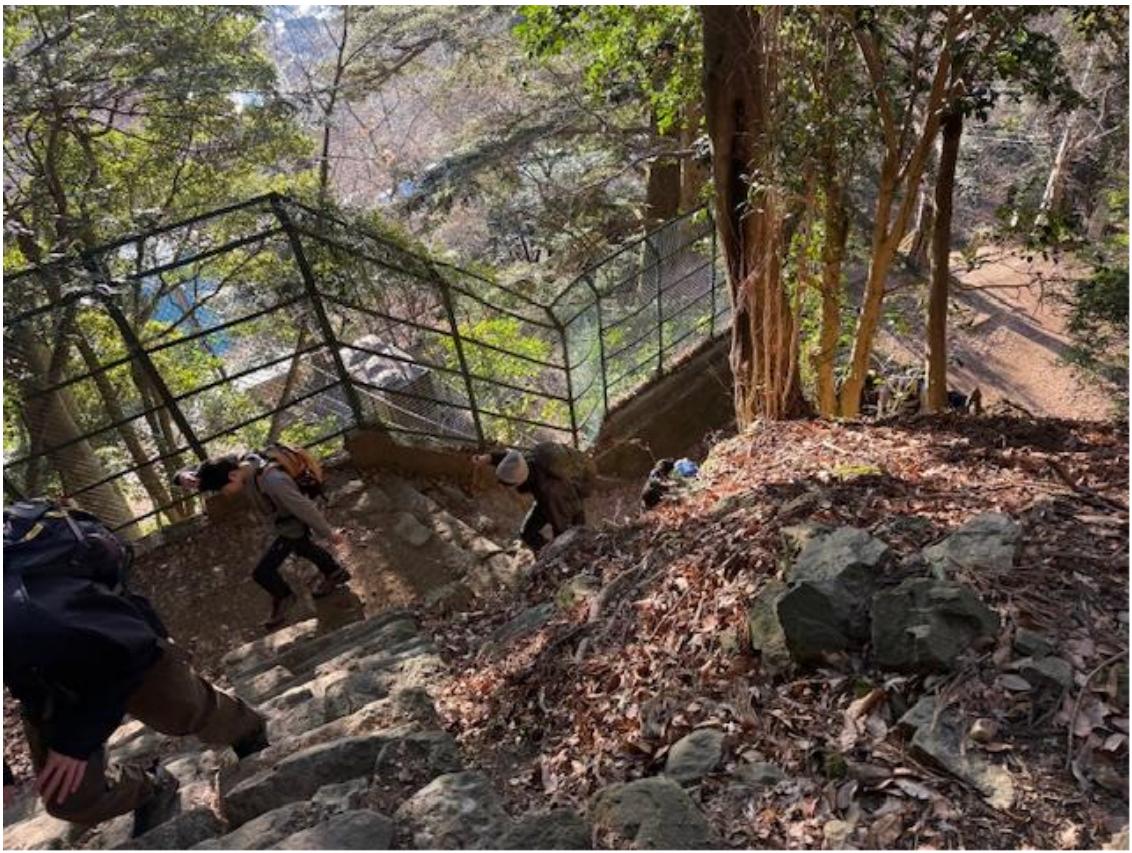
2026年第1回目の山行です。今回のコースはひたすら登ってひたすら下るコースです。



おなじみのこま参道です。地味に傾斜があります。



男坂手前の神社まで徒歩15分。だんだん体が温まってきました。



いきなり急な石段からのスタートです。ここからが厳しい戦いの始まりです。



男坂は体力だけでなくメンタルも削られます…。



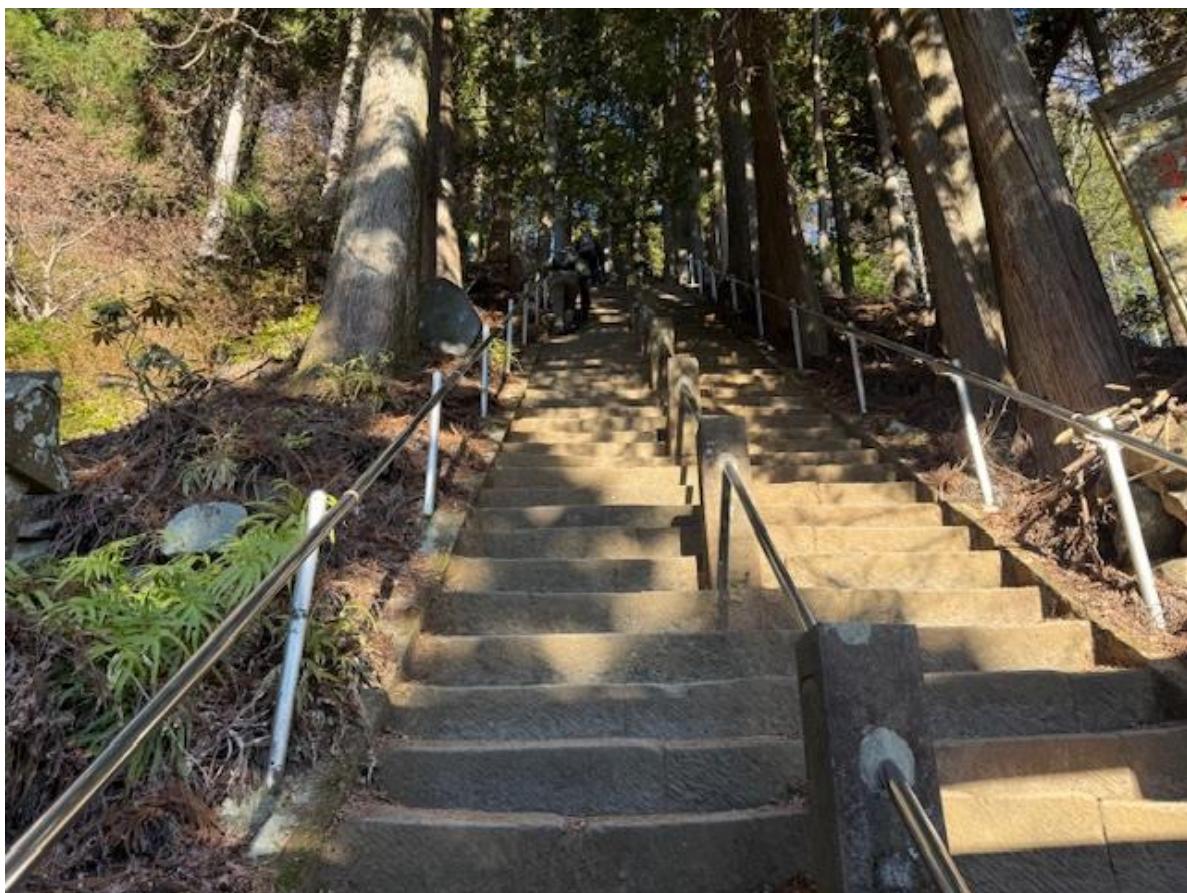
小1時間ほどで大山阿夫利神社に到着。



まずはここまで無事にたどり着きました。



大山阿夫利神社の本殿下にひっそりとある大山名水の水汲み場です。山頂のお汁粉のための水をいただいています。大山のご利益を体に取り入れるので今年は開運間違いなし？



下社から奥の院につづく登山道にそびえる石段。ここからも厳しい戦いです。



登りではなるべく傾斜がゆるいルートを探し、疲れないように気をつけています。まっすぐ登山道を歩くだけが歩行ではないことを学んだようです。



朝9時過ぎですが、日陰は道が凍っていました。



ランドマークの夫婦杉。



ランドマークのボタン岩。この周辺の足元の岩の形が牡丹の花のように見えるのだそうです。



牡丹岩の画像です。皆さんには牡丹の花に見えますか？



ランドマークの富士見台。実際の富士山はこの何倍も大きく見えます。画像で伝わり切らないことが残念です。



25丁目を過ぎたあたりで鳥居が見えてきました。



ゴールまであと少し。



大山山頂に登頂！



お汁粉パーティー前に記念撮影。天気も最高です。



こここのどこかに横浜ランドマークタワーが映っているらしいです。



寒空の下でのカップ麺は最高の贅沢です。



旨い！



お汁粉の調理も同時にスタート。ちなみにこの日は平塚中等教育学校の山岳部も同じルートで、ほぼ同時刻に登頂しました。登頂後、平塚中等もお汁粉パーティーをやっていました。



大山阿夫利神社の御利益と糖分をチャージして下山に備えます。



下山前に軽アイゼンを装備し、凍った路面を少しだけ歩きました。



秦野方面と相模湾を望む。天気には本当に恵まれましたが、13時ごろから風が強くなりました。



休憩ポイントの見晴台。下社まであと小1時間です。だいぶ高度が下がってきて少しづつ気温が上がり始めました。



下社ではトイレ休憩だけのはずなのですが…www



寒空の下でのアイスのお味はいかに？



学業成就を祈念して…。



下社でトイレ休憩後、女坂を通って下山しました。



大山寺通過後の登山道。



男坂手前神社が女坂との分岐点になっています。ここで記念撮影。厳しい戦いはこうして幕を閉じました。



お疲れさまでした。



2週間後の1/24（土）および1/25（日）は新人登山大会に出場します。他校の生徒と一緒に鍋割山の登頂をめざします。